

SIFA ニュース



NO. 90

2016 年度 秋号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

わいわい春まつりの 実行委員を募集します

県内でも最大級の国際交流フェスタ「わいわい春まつり」の実行委員を募集します。メンバーは様々な国籍や年代の方で構成しています。お祭り当日だけでなく、異文化理解を体験しながら一緒に楽しい行事を作りましょう。

実行委員会：毎月第1金曜日 19:00～21:00 ごろ
(第1回実行委員会は、10月14日にスタートしました)

**申込：鈴鹿国際交流協会へ直接いらっしゃるか、電話
でご連絡ください。**

内容
おしらせ

○わいわい春まつり実行委員
募集

○事務所を移転します
報告

○鈴鹿市・ベルフォンテン市
相互交流

○国際理解講座

○学習支援ボランティア養成
講座

○リオオリンピックパネル展



実行委員と当日ボランティア (2016年)

[わいわい春まつり] (予定)

日時: 2017年4月23日(日)

10:00～15:00

ところ: 鈴鹿ハンター

& 弁天山公園

SIFAは別館第3へ移転します

市民会館の耐震工事に伴い、11月14日(月)からSIFAの事務所が市役所立体駐車場の道を挟んだ南側の別館第3へ移転します。

事務所自体は狭くなりますが、2階の共有会議室が使用できるなど良い面もありますので、近くへお越しの際はお立ち寄りください。

新住所：鈴鹿市神戸1-17-5 別館第三

電話番号やメールアドレスは変わりません。



鈴鹿市・ベルフォンテン市 相互交流事業&友好協定25周年記念事業

一昨年(平成26年)よりベルフォンテン市との青少年の相互交流は、訪問と受け入れが隔年の実施となり、今年度は7月下旬に、ベルフォンテン市より派遣生8名と引率者3名を受け入れました。

そして、ちょうど今年がベルフォンテン市との友好協定調印25周年という節目の年だったため、ベルフォンテン市から市長グループ7名が派遣生に同行して鈴鹿を訪れました。

また、10月初旬には、鈴鹿から市長をはじめとする公式代表団がベルフォンテン市を訪問しています。

25周年を祝い、更なる交流の推進を図るべく、両市長による共同宣言がなされました。

以下、学生派遣団の受け入れの様子と、市長をはじめとする両市代表団の訪問の様子をご紹介します。

[7月28日～8月1日]

派遣生及び市長グループが来鈴

7月29日(金)

派遣生及び市長グループは、末松市長を表敬訪問しました。⇒その後派遣生は、神戸中学校で学生間交流をしました。神戸中学校の生徒さん達は、みなさん英語でありさつ・進行をし、英語で作ったすごろくゲームをしたり、一緒に「妖怪体操第一」を踊ったりしました。



その後、本田技研工場・消防署・議場の見学をしました。

7月30日(土)

派遣生はホストファミリーと一日一緒に過ごし、市長グループは、鈴鹿市との情報交換会に出席しました。情報交換会では、SIFAの相互交流事業における研修内容についても事務局長が発表しました。

7月31日(日)

午前、市の主催で青少年討論会が行われました。一昨年ベルフォンテンへ行った派遣生OBがパネラーとして出席し、ベルフォンテンからの派遣生らと共に、「互いの市の偉人について、ボランティア及び地域貢献活動について」等話し合いました。



同日午後は、SIFA主催でフェアエルパーティを行いました。

華賀きもの学院さんのご協力のもと

着物・浴衣を着て、書道・お琴・風呂敷包み・お抹茶席など日本文化を体験してもらいました。派遣生や市長グループのみなさんは、ホストファミリーと共に、とても充実した楽しい時間を過ごされました。



10月1日～6日、市長をはじめとする公式代表団が、ロサンゼルス市とベルフォンテン市を訪れました。

国際交流協会からも理事長と職員の二人が同行しました。

ロサンゼルス市では、三重県人会さんを中心に、お集まりいただいたみなさんの前で、SIFAで行う青少年交流の紹介をし、教育プログラムの更なる拡充の可能性を探るべく情報交換を致しました。



次に、ハリウッドにある総合音楽学校ミュージシャンズ インスティテュート (MI) を訪問しました。ここは、ジャズやブルース、ロックなどの現代アメリカ音楽を専門として、音楽短期大学や専門課程なども併設しており、またメイクアップのスペシャリスト養成校などもあります。

将来、鈴鹿から留学及び短期研修などに行く際の受け入れの可能性を探りました。



中学生・高校生の青少年交流のみではなく、鈴鹿にもっと多くの人材を受け入れ、また送り出す仕組みが出来ないか、これから探っていきたいと思っています。

ベルフォンテンでは、とても温かいおもてなしで歓迎を受けました。これも25年という長い歴史の中で育まれた2都市間の友情の賜物だと思います。



ウエルカムレセプションでは、鈴鹿市長より更なる友好親善を深めることを目的に、今後も継続的に良好な友好関係を保持し続けることが出来るよう、互いに努力していきたいと挨拶していただき、翌日のランチミーティングでは、両市長による共同宣言調印式が執り行われました。



また、ベルフォンテン市庁舎前の庭に、おかめ桜を両市メンバー共に植樹しました。



会場には、両市の学生が書いた「友情と平和」をテーマにした絵画が展示されていました。

両市の絆が、今後一層深まっていくことを祈念して、25周年記念事業は無事終わりました。

国際理解セミナー「旅が、おしえてくれたこと」を開催しました。



9月25日(日)、鈴鹿医療科学大学 白子キャンパスにて、バックパックひとつ担いで世界約40か国を巡ってきた島村 藍さん(鈴鹿市在住)に、旅の話をしていただきました。

参加者は111名。藍さんは、ユーラシア大陸を東から西へ進み、極寒のウクライナにたどり着くまでの話を中心に、たくさんの写真や動画を見せながら興味深いお話をして下さいました。

国境をいくつも越えた藍さんは、それぞれの国の文化の違いは、地形によって違いが出ていると感じたそうで、顔立ち、食、宗教なども、山を越えると突然変わると気付いたそうです。他に、インドで結婚式に遭遇した時の長老の話、イランでは出会うほとんどの人に「イランへようこそ！」と言われたこと。そして週末には、公園でテントを張って中にペルシャ絨毯を敷き、キャンプをするのが流行っていること、ウズベキスタンの人々は眉毛が繋がっていたり、トルコの猫は太っているという笑い話など、面白い話が盛り沢山でした。

この日は2部制で、1部の講演会の後、藍さんが立ち上げた実行委員会主催で、「小さき声のカノン」の映画上映もあったため十分な時間が取れず、アンケートでは、藍さんのお話をもっと聞きたかったという感想が多かったです。藍さんは、もうすぐニュージーランドに行かれるため、帰国されたら是非また講師として、今度は3回シリーズくらいで、旅のお話をしてもらいたいですね。

学習支援ボランティア養成講座



7月14日(木)と28日(木)にジェフリー鈴鹿にて行い、9名の方にご参加いただきました。多くの方は、学校ボランティアに参加していて、日常で関わる外国籍の子どもたちについて理解を深めることを目的に参加されました。

鈴鹿市教育委員会の中川智子先生に講師をしていただき、外国籍の子どもたちの学校の様子や、支援の仕方と一緒に考えました。そして、子どもたちの話を受け止めて寄り添う事が何よりも子供の学習意欲につながることを教えていただきました。

また、8月8日(月)には、神戸小学校の学習支援活動を見に行き、実際に体験していただきました。講座の中で作成した多言語のあいさつカードを小学校にプレゼントできました。子どもたちの母語を大切にすることが大切につながるといいですね。

学習支援は子どもの笑顔につながる素敵な活動です。生活に無理のない程度で活動できますので、興味のある方はSIFAまたは市人権教育課へご連絡ください。

リオオリンピックパネル展

8月5日(金)から21日(日)のリオオリンピック開催期間に合わせ、鈴鹿ハンターにてパネル展を開催しました。オリンピックを支える日系人についてや鈴鹿ゆかりのオリンピック出場選手のこれまでの記録、ブラジルについて知っていただくためにサンバの衣装や、ブラジルの産品を展示しました。鈴鹿市内でブラジルの食べ物に出会えるお店も紹介したところ、訪れた人は、「鈴鹿にこんなにいろんなお店があったんや！」と驚かれています。ブラジルへ行くのは大変ですが、市内の輸入品スーパーやレストランを利用して食べ物から異文化体験を始めてみませんか。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-18-18 市民会館正面玄関西

TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639 ☑sifa@mecha.ne.jp URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>